

番号	ご意見、ご感想		市からの回答、市の考え等
	提案内容について	その他	
1	ホール建設は、城下町ホール白紙撤回決定以後、市民や専門家が心を込めてとりくんで来ましたが、その結果出来あがった新居氏設計のホールが2度目の白紙撤回になり、その後の市長行政の迷走が起ってから市民の意見が採用されがたく、行政主導になり今を迎えました。 市民のために造るホールがなければ、また、そうなるビジョンがしっかりしなければ、このホールは造るべきではないと思います。 お城を大切にする方々の意見広告も読みましたが、きょうかんするところがあります。市民に夢と希望を与えてください。		芸術文化創造センター実施設計に至るこれまでの成果につきましては、市民ホールの要求水準書に可能な限り反映することが出来ました。その結果、芸術文化創造センターから建設費を10億円削減しましたが、「市民ホール基本計画」のかなりの機能を整備する目処が立ちました。今後も市民の皆様 の意見を取り入れながら、建設費内で、シンプルで使いやすい、良質な市民ホールの整備に取り組んでまいります。
2	Q + A等の時間が足りない。 時間で無理やり切ってしまうのはいかがなものか。	後半、女性の発言（市長が答えた）は不愉快でした。本来の目的とは離れている上、自分の発言後10分程スマホを操作して出て行った。こちらの市の他のあり方などに不満があるが本日言うべきものではない。	市民説明会での質疑応答につきましては、なるべく多くの方にご発言いただけるよう努めるとともに、本日、ご発言が叶わなかった方のご意見につきましては、アンケート用紙にご記入いただきました。アンケートの結果も踏まえ、引き続き市民ホールの整備に取り組んでまいります。
3		長い間の念願であったホール！！ やっとやっとやっと現実に見えるという目途がたってきてホッとしている。	平成33年秋のオープンに向けて、市民ホールの整備に取り組んでまいります。
4		展示については、壁面積というより、平立にかかわらず、空間として考えてほしい。	展示につきましては、ギャラリーのみでなく、数多くの展示空間を整備いたします。展示空間については、使い方を考慮しながら設計を進めてまいります。
5		業者選定その物がおかしい！！ リニアの談合事件で検察が動いている、リニアでは、東京・神奈川・山梨・長野・名古屋と各地で環境問題が指摘され、住民が裁判を起こしている。そんな業者を住民が信頼できる訳がない！！リニアのゼネコンが進めている状況は反対住民の方から伺っています。 舞台の様子が全く見えていない説明も不明瞭です！！音響の事ばかり強調して説明されていたが、死角についての説明が分からない！！同料金を支払って見えるはんいは客が選択すれば良い！！というのは暴言です。 小田原行政に対して住民の不信感が根強い！！ ホールの周辺住民だけでなく、納税者の私達市民が納得できるホール建設を進める為には、現状では到底納得できない！！	平成30年3月、鹿島建設の社員が、リニア中央新幹線建設工事の入札において独占禁止法の規定に違反する行為を行っていたとして東京地検特捜部に逮捕されたことにより、同社に対して、本市では工事入札参加資格者の指名を停止いたしました。このように同社に対しては、ルールに則り適切な対応を取りながら、市民ホールの整備を進めております。また、視線の確保につきましては、類似施設と比較しても、市民ホールは全ての席で良好な視線を確保しております
6	完全に理解出来ない部分もありましたが、全体に推進されている状況は良く分かった。	モニタリングを是非皆に理解出来る様に進めていただきたい。 小田原市の都市計画については、別の観点で商工会も含めてたし上げて進める必要があると思います。 とにかくここでSTOPしたら次は無いと思うのでがんばってください。	都市計画をはじめ各分野の専門家で構成する整備推進委員会、CM事業者とともにモニタリングを行いながら、シンプルで使いやすい、良質な市民ホールの整備に取り組んでまいります。
7	東西通路に駐車場があり、車が入り込むことになる。 人の回遊性をうたうスペースに車が入るのは良くない。		駐車場につきましては、業務を行う上で必要な台数分を確保し、一般の来場者の方は周辺の駐車施設の利用を基本としております。敷地を東西に通り返る歩行者の方には、建物内の回廊を通行いただくなど、運営面を含めて、歩行者の安全確保に努めてまいります。
8		提案内容を聞いて、素敵施設だと思いました。 ただ、質疑応答では、建設、費用、財政など様々な意見を持つ人が多いとわかりました。 特に建設計画が10年も延滞していることは、市民としてちゃんと実現できるようにしてほしいと思います。 また、今回の会とは違いますが、教育環境の整備なども、行政として、解決していかない課題だと思いました。	平成33年秋のオープンに向けて、市民ホールの整備に取り組んでまいります。
9	後始末するのは、市民だ！それでもやるなら、寄附金、補助金等を集める努力をしろ！なるべく税金を少なく！ 市長へ 一、二宮尊徳の教えの復習を 一、合併が流れた説明を市民に対して集会開く	ホール自体に反対。南足柄との合併が流れた。赤字が拡大（急速に）する中で、箱物をどんどんやる必要があるのか。財源を考えよ！税金は市民の文字通り、血と汗の賜物だ。市の職員とは比べようがないハードワークをしている。市民、幹部、市議が稼いだ金ではない。熱海の市長を見習え。夕張にしたいくないと、公共工事をすべてストップさせた。今や復活してすごいことになっている。文字通り、命懸けで仕事をした。 合併が流れ、財政の見通しをきちんと市民に説明しろ！無責任すぎる。まず、壁が崩れる小中学校、市民病院他修理しろ！子供がケガしたらどうするのだ。雨もりを生徒自らが修繕している！恥を知れ！何が地下街だ、ウメコだ、ホールだ！まず、やるべきことをやれ！小田原を破綻させるつもりか！	市民ホールの整備には、国からの交付金を充てるとともに、「市民ホール整備基金」を設置して、ご寄附を募り、市民の皆様 の浄財も活用させていただくこととしております。また、現時点では南足柄市との合併という選択肢が無くなったことから、安定的な行政サービス供給体制の確立に向けて、これまで準備を進めてきた各事業の集中と選択などによる効率的な行財政改革を進めてまいります。
10	市民会館では、子どもの発表会等でよく利用するが、送迎する際に、そもそも場所が狭いだけでなく、既にタクシーが駐車して、どうにもならない時がある。 新たなホールでは、こういった送迎にも対応できる場所を確保して欲しい。		現在、基本設計に取り組んでおり、提案時から、北側の駐車場で車が転回できるよう機能の向上を図っております。この機能向上により、送迎にも対応しやすくなるものと考えております。